

第1号 | 2022年5月

ELSaN PROJECT

NEWSLETTER



**Environment,
Livelihood,
and
Sanitation
Nexus**

ELSaN Projectについて

ELSaN はEnvironment (環境), Livelihood (暮らし), and Sanitation (衛生) Nexus(連環) の頭文字から取っています。環境、農村住民の暮らし、公衆衛生を三位一体で改善していこうという狙いです。

京都大学大学院地球環境学堂は2021年10月からアフリカ・マラウイにてJICA草の根技術協力事業として、農村住民の収入向上支援を目的としたプロジェクトを進めています。

このプロジェクトでは、農村の未利用資源、つまり使われずに捨てられているものを活用することで、農村住民がお金をかけずに持続的な収入を得られるようになることを目指しています。



上: 人間のし尿からできた肥料
下: し尿分離型ドライトイレ内部

人間のし尿を利用する

未利用資源の手始めとして、人間のし尿（大小便）に注目しました。し尿分離型ドライトイレ（以下ドライトイレ）を利用し、普段は使われることのないし尿を肥料として利用しようという試みです。このドライトイレはその名の通り大便と尿を分離することで肥料をつくるのが特徴です。



<ドライトイレ内部のイラスト>

農村住民の収入向上

今回のプロジェクトではこのドライトイレの建設に加え、更に踏み込んだ活動を予定しています。ドライトイレからできた肥料を活用した作物の栽培方法を教えるだけでなく、栽培した作物の販売促進のためのトレーニングも実施する予定です。農業生産が向上したとしても必ずしも収入向上には繋がりません。

そのために彼ら自身が市場調査を行い、持続的に作物が販売できる体制づくりを支援します。また、寄宿舎付きの高校とも連携を図り、そこで得た肥料を使って住民が栽培した作物を学校に提供するなど、農村住民だけでなく地域全体にドライトイレを広げられるようにします。



<プロジェクトで作成したリーフレット>

説明会の開催

まずプロジェクトを始めるにあたって、県の農業オフィスオフィサー向け、地域の農業普及局員・有力者向けの説明会を実施しました。私達のこと・プロジェクトのこと・ドライトイレとはどのようなものなのか・地域の住民にどんなメリットがあるのかを説明して回りました。

住民への説明会は何度も繰り返し実施することで、1人でも多くの住民が参加の機会を得られるようにしました。説明会で強調したのはトイレ建設に必要な資材費（約2万円）は、皆さん自身で負担してくださいねという点です。住民がトイレ建設に必要な費用を賄うことで、彼らの自立を促し、プロジェクト終了後も永続的にトイレを使い続けてもらうのが狙いです。

住民の自宅訪問

説明会の後、プロジェクトに興味を示した住民の自宅を訪問しました。現在使用しているトイレの状況、どんな作物を栽培しているのか、家畜は持っているのか、1ヶ月の支出はいくらか、灌漑農地はあるのかなどを調査しました。この調査の目的は、住民が資材費を捻出できるかどうか確認することでした。こうした調査を繰り返すことで、プロジェクトに参加したいと言う熱心な住民を見つけることができました。

現時点で費用を捻出できないがトイレに関心を持ってくれた住民とも継続して関わりをもち、人間のし尿以外の未利用資源を住民と見つけ出し、できることから少しずつ暮らし向上を実現していきたいと考えています。



<地域住民に向けた説明会を実施>

プロジェクトメンバー紹介 第1回



プロジェクトマネジャー

京都大学大学院地球環境学堂・准教授の真常仁志(しんじょうひとし)です。

もともとの専門は、農学特に土壌学で、アフリカで土地荒廃が起こるメカニズムを解明したり、土地荒廃を防ぐ方法の開発に取り組んできました。そうやって開発した技術が住民にどのように受容されるのか、住民に受容される技術とはそもそもどういうものなのかといった、技術と住民の関係に関心を持つようになり、本プロジェクトを立ち上げました。

世界最貧国のひとつといわれるマラウイですが、住民一人一人の農業にかける真摯な思いに正直うれしい驚きを感じています。住民自身がいろんなことに気づくお手伝いができたらと思っています。



現地調整員

プロジェクト現地調整員としてマラウイに駐在中の矢谷優季(やだにゆき)です。マラウイではJICA海外協力隊として、2年間同地域で活動しました。

専門が公衆衛生のため、今回はHIV/AIDSの予防啓発を中心に実施しましたが、今回は農業という視点から地域住民の収入向上、ひいては生活改善に繋がる活動に携われることにとっても嬉しく思います。住民の生活改善に加え、公衆衛生・環境の改善も同時に目指すことで、住民がより良い生活ができる一助になればと思います。今後様々な場所でプロジェクトの進捗報告などマラウイからの発信を続けていきますので、ぜひ見て頂けたらと思います。



プロジェクト専用HP、Facebook、Instagramなどで活動の様子や現地での暮らしについて発信中です！

